

あくね 市議会だより

第2回臨時会
第3回臨時会

第4回定例会



令和4年第2回臨時会……………2
 令和4年第4回定例会……………4
 令和4年第3回臨時会……………5
 委員会での審議……………5
 令和5年第1回臨時会……………7
 市政を問う！ 一般質問……………11
 クイストrom議会だより……………14



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

阿久根市議会

検索

ふかたみなとマーケット開催

昨年11月から始まったマーケットが1月8日に深田港で開催されました。この取組は毎月1回開催されます。

令和5年2月15日発行 (No.218)

令和4年第2回臨時会

プレミアム商品券の追加など一般会計補正予算を審議



令和4年度
補正予算

電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付金
として非課税世帯に5万
円を給付するもので、財
源は全額国庫支出です。
2億1295万円余

市制70周年で発行され
たプレミアム商品券の追
加分として、一人につき
額面五千円の商品券を千
円で販売するものです。
1億478万円余

以上を補正追加し、可
決しました。その結果、
一般会計予算は、132
億3982万円になりました。

討論

議案第37号
一般会計補正予算（第
6号）

賛成 白石 純一議員

この商品券事業は、大
変有意義だと思ってい
るが、産業の中でもより必
要な業種、業態の方々へ
この恩恵が行き渡るよう
にもう少し工夫ができる
のではないかと。もし大型
店舗が、数値的にコロナ
禍で売上げが伸びている
ということを把握できれ
ば、今回は遠慮いただ
いてもいいのかもしれない。
飲食業、そして飲食業
と密接に関わっているタ
クシー、代行業者、そして
酒の製造、卸、ほかにもコ
ロナ禍で影響を大きく受
けられている業種、業態
の方もいるかもしれない。
そういった方々にきめ細
やかな支援となるような、
この商品券事業の在り方
をもう一度検証していただ
き、その内訳を吟味し、
私の提案を少しでも反映
いただければ幸いである。

令和4年第2回臨時会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）												議決結果			
		竹之内和満	川上洋一	濱門明典	白石純一	濱田洋一	竹原信一	仮屋園一徳	中面幸人	牟田学	岩崎健二	木下孝行	濱之上大成		山田勝	濱崎國治	野畑直
議37	令和4年度一般会計補正予算（第6号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	欠	-	可決

【表の見方】 議：議案 請：請願 決：決議 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 -：表決権なし

○野畑直議員は議長職のため特別多数議決を除く議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

令和4年第4回定例会

「薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情」の一部採択に伴う意見書を可決

海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域の指定のための国への情報提供に関し 地元関係者等への積極的な情報提供等を求める意見書

日本は、2050年カーボンニュートラルを宣言し、その実現には、電力部門の脱炭素化が大前提であり、再生可能エネルギーは最大限導入することとされ、このうち洋上風力発電は、再生可能エネルギーの主力電源化の切り札である。

鹿児島県は、再生可能エネルギー導入ビジョン2018を策定し、地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入を促進することとしている。このうち洋上風力発電事業については、国が海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律に基づき、洋上風力発電の開発を認める海域（以下、「促進区域」という。）の指定を行った上で、公募により事業者を選定することとなっている。

促進区域の指定に当たっては、国の海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域指定ガイドラインに基づき、促進区域の指定を希望する都道府県による情報提供等により様々な情報収集をした上で、早急な指定ができる見込みのある有望な区域を選定することとされており、鹿児島県は、この情報提供について、市町村及び利害関係者等の意向を確認した上で可否を判断することとしている。

今般、本市の沖を含めた海域において、複数の事業者による洋上風力発電事業が計画されているが、これらは鹿児島県において、カーボンニュートラルの実現、地域の経済への波及効果という観点からも重要な計画であって、推進していくべきものである。この推進に当たっては、計画地域の理解、環境への影響等も十分見極める必要があることから、鹿児島県は関係の市町や利害関係者等の意向も踏まえながら対応している。

しかし、一部の利害関係者から国への情報提供及び情報提供の可否の判断のための一つの条件となる法定協議会への参加には反対であるとの意向、また、その他の利害関係者から法定協議会への参加を希望するものの、情報提供は希望しない旨の意向であったことを理由に、国への情報提供を行うに至っていない。

鹿児島県は、国や関係市町と連携し、利害関係者等の制度への理解が深まるよう、勉強会などを開催するほか、各地域で制度の具体的な手続等について説明を行い、経済波及効果や環境への影響などの有用な情報を得た場合は、関係市町や利害関係者等へ積極的に情報提供していくと県議会において答弁されている。

このような状況の中、本市議会に対し、洋上風力発電計画を推進するために、行政、市議会、関係団体等が連携して協力する体制を構築すること、また、鹿児島県に対して、国に対しての情報提供と有望な区域の指定を行うよう求める意見書を提出することを求める陳情が市内事業者等の代表者70人の署名を付して提出された。

本市議会では、この陳情を慎重に審査した結果、利害関係者等から反対の意思が示されたものの、鹿児島県において、利害関係者等への本制度の説明が不足していると判断し、一部採択としたところである。

よって、鹿児島県においては、下記事項をさらに積極的に行われるよう強く要望する。

記

- 1 利害関係者等に対する制度説明会の開催や有用な情報提供などを積極的に行うこと。
- 2 利害関係者のうち漁業者については、懸念される事項などについて関係漁業団体から直接聞き取るなどの対応を行うこと。
- 3 国への促進区域の指定のために必要となる情報の提供を行うに当たり、条件とされている「利害関係者から協議会を開始することについて同意を得ること」について、利害関係者と積極的に協議を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月7日

鹿児島県阿久根市議会

鹿児島県知事 塩田 康一 殿

決議第3号「阿久根市議会の解散に関する決議」を賛成6票 反対5票

否決

阿久根市議会の解散に関する決議（案）

現在4年に1回、約4か月の間に市長選挙と市議会議員選挙、さらに県議会議員選挙も実施されている。市民の方々から選挙のあり方についての不満が出されており、令和4年第2回定例会に、市長選挙と市議会議員選挙の同日選挙を求める陳情書が2件、令和4年第3回定例会には多数の署名を付した陳情書が1件提出された。同日選挙になると、市民の負担軽減、選挙費用の削減、投票率の向上など多くのメリットがあることから、議会としても特別委員会を設け、議論を続けてきたところである。市民の方々からも同日選挙の実施を求める多くの声を聞く中において、令和4年第3回定例会で、この3件の陳情書を採択した。

以上のことから、市民の代表である議会として市民の声の実現に努めるべきであると考え、12月18日に執行予定の市長選挙と市議会議員選挙を同日に執行するため、「地方公共団体の議会の解散に関する特例法」第2条の規定に基づき、阿久根市議会の解散を決議する。

令和4年12月7日

議会解散決議

市長と市議会議員の同日選挙を求める3件の陳情の採択を受けて、議会解散の可否について、無記名投票を行った結果、欠席2名、賛成6票、反対5票で否決されました。なお、議会解散の議決は特別多数議決になるため、議員数の4分の3以上の者が出席し、その5分の4以上の者の同意がなければならぬと定まっています。

決算認定

令和3年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の決算認定の議案は9月本会議に上程後、閉会中の継続審査として決算特別委員会に付託され、同委員会では認定すべきものとしていました。本定例会において全て賛成多数で認定されました。

条例改正

古里地区集会施設を地区へ譲渡するため、阿久根市地区集会施設の設置

及び管理に関する条例の一部を改正する条例を可決しました。

人事

次の方々が同意されました。

教育委員会委員

西園 敦子さん(46)再

公平委員会委員

中野 浩治さん(57)再

補正予算

一般会計

追加補正分を可決しました。主な事業は次のとおり。

○ 新型コロナウイルス予防接種業務
1366万円余

○ 出産子育て応援交付金
1300万円

○ その結果一般会計予算は132億5921万円余となりました。(5P参照)

特別会計

以下の会計について人事異動に伴う職員給与等の補正を可決しました。

○ 国民健康保険特別会計(事業勘定)
△241万円余

○ 介護保険特別会計(事業勘定)
△219万円余

○ 水道事業会計
368万円

その結果、国民健康保険特別会計予算(事業会計)は29億7117万円余、介護保険特別会計予算(事業勘定)は32億398万円余となりました。

また、水道事業会計の水道事業費予算は5億2641万円余となりました。

陳情

電源立地地域対策交付金に関する陳情は、賛成少数で不採択とされました。(5P参照)

薩摩沖上風力発電計画に賛成を求める陳情は、一部採択とされました。(7P参照)

意見書

海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域の指定のための国への情報提供に関し地元関係者等への積極的な情報提供等を求める意見書は、賛成多数で可決されました。

選挙

議員辞職に伴い、1人の欠員が生じたことから議長の名指しによる選挙で決定しました。

北薩広域行政事務組合議会議員
木下 孝行議員

議員辞職

一身上の都合により10月～11月に中面幸人議員、白石純一議員の辞職が許可されたことが報告されました。また、濱門明典議員が12月7日に一身上の都合により辞職願いを提出し、同日許可されました。

選挙

北薩広域行政事務組合議会議員

・濱田 洋一議員
・飯屋園 一徳議員

予算委員会

牟田 学 委員長

一般会計補正 予算第7号

原案可決
賛成多数

福祉課所管の審査

委員 債務負担行為の保育園保護者連絡システム使用料について、このシステムはどんな動きをするのか。

福祉課長 保護者から欠

席の連絡、保育園からのいろいろな連絡を各保護者のスマホを使って行うシステムである。

健康増進課所管の審査

委員 新型コロナウイルス予防接種業務について、子供の接種は何%ぐらいを見込んでいるか。

健康増進課長

子供のワクチン接種は、5歳以上12歳までを小児ワクチン、生後6か月から4歳までを乳幼児ワクチンと分けている。最近始まった乳幼児ワクチンの接種率はまだ計算していないが、小児ワクチンは対象者の30%が接種済みで、伸びがあまりない状況である。

商工観光課所管の審査

委員 地元企業就労者賃貸住宅家賃支援補助金について、実際に幾ら使われているか、どのように想定しているか。

商工観光課長

これまで8人に総額56万8000円を交付し、平均で3万9900円の家賃となっている。本年度は5

人を想定していたが10月末時点で13人から相談があったことから、不足分を追加した。

教育総務課所管の審査

委員 アコーデオンの立を購入すると説明があったが、どのように使うのか。

教育総務課長補佐

保健室で飛沫防止用として使用するものである。

討議・討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

令和4年

第3回臨時会 開催

濱門明典議員の辞職、竹原信一議員の市長選挙に立候補したことに伴う失職により、北薩広域行政事務組合議会議員に2人の欠員が生じたことから、12月21日に第3回臨時会を開催しました。

総務文教委員会

濱田 洋一 委員長

電源立地地域対策交付金に関する陳情

地域立地電源 対策交付金

不採択
全会一致

審査方法の協議

6月10日

陳情内容に関する討議について所管課に出席を求め、現状説明を受け、質疑を行うことを決定。

所管課への質疑

6月17日

委員 市として直接、川内原子力発電所と意見交換をする場はあるのか。

総務課長

防災上の観点から、市長・副市長をはじめ、担当職員が原子力発電所内の視察を行い、その際に原子力発電所の幹部や担当者との意見交換を行っている。

委員

市によって交付金の額に大きな差があるが、何を基準に決定されるのか。

か。発電所の所在地である薩摩川内市は、国から直接、原子力発電施設等立地地域長期発展対策交付金を受けている。この交付金は、隣接市町村には交付されないため、大きな差となっている。

企画調整課長

原発から半径30キロから離れた地域もあるが、その地域も含め、全てUPZ圏内という考えのもと整理している。

委員 交付金は県の裁量であるのか。各市町村で要望し、それによって額が変わることがあるのか。

企画調整課長

阿久根市には県を通じて交付されるが、県が算定式に基づき算出し交付している。

参考人及び所管課への質疑

8月23日

参考人(陳情者)への主な質疑・答弁

委員 薩摩川内市と隣接自治体との一番大きな交付金の差額は、立地自治体である薩摩川内市にしか交付されない長期発展対策交付金10数億円の分である。これを何とかして欲しいということか。

所管課への質疑

8月9日

委員 阿久根市では、30キロまでがUPZ圏内とされているが、それから外れる地域はどのように

参考人

国から交付される長期発展対策交付金を何とかならないかということである。県議会議員や国会議員にお願いして、



出典：鹿児島県原子力防災のしおり

委員長の確認事項の報告
委員 延長には反対であるが、もし延長された場合は交付金のアップをお願いしたいということか。
参考人 そうである。

委員 延長には反対であるが、もし延長された場合は交付金のアップをお願いしたいということか。
参考人 そうである。

委員 福島の二の前をださないようであるが、二の前ではなく二の舞という文言が適切だと思うが。
参考人 日本語は難しいとつくづく思う。今後、改めて陳情書を出すときには、目を通して、間違いがないようにしたい。

委員 文言の誤りについて、訂正していただいた方がよいと思うが。
参考人 私として訂正したいと思う。

委員 もし、20年運転延長した場合、という言い方をされているが、参考人は運転延長には容認と

いう考えか。それとも原発全体を含めて反対か。
参考人 運転延長には反対である。ただ、原子力規制委員会が延長を認めた場合、国はそういう動きをするわけだから、このような文言を書いている。

委員 延長には反対であるが、もし延長された場合は交付金のアップをお願いしたいということか。
参考人 そうである。

委員 福島の二の前をださないようであるが、二の前ではなく二の舞という文言が適切だと思うが。
参考人 日本語は難しいとつくづく思う。今後、改めて陳情書を出すときには、目を通して、間違いがないようにしたい。

委員 文言の誤りについて、訂正していただいた方がよいと思うが。
参考人 私として訂正したいと思う。

委員 もし、20年運転延長した場合、という言い方をされているが、参考人は運転延長には容認と

したがって、陳情書に記載されている金額と実際の交付金額が異なることから、委員長において陳情者に対し、陳情書を訂正する意志があるか確認したが、参考人及び補助者は、陳情内容の文言及び数字とも訂正しないとの意志であった。

委員 延長には反対であるが、もし延長された場合は交付金のアップをお願いしたいということか。
参考人 そうである。

委員 福島の二の前をださないようであるが、二の前ではなく二の舞という文言が適切だと思うが。
参考人 日本語は難しいとつくづく思う。今後、改めて陳情書を出すときには、目を通して、間違いがないようにしたい。

委員 文言の誤りについて、訂正していただいた方がよいと思うが。
参考人 私として訂正したいと思う。

委員 もし、20年運転延長した場合、という言い方をされているが、参考人は運転延長には容認と

資源エネルギー庁、九州経済産業局に要望を行った。電源立地地域対策交付金に関するところについては、国の電源立地地域対策交付金制度及び原子力立地給付金制度の対象について、立地市町村、隣接市町村にかかわらず、原子力発電施設が立地する地点からの距離に応じて、その市町村全域を交付対象とすることという内容である。

委員 延長には反対であるが、もし延長された場合は交付金のアップをお願いしたいということか。
参考人 そうである。

委員 福島の二の前をださないようであるが、二の前ではなく二の舞という文言が適切だと思うが。
参考人 日本語は難しいとつくづく思う。今後、改めて陳情書を出すときには、目を通して、間違いがないようにしたい。

委員 文言の誤りについて、訂正していただいた方がよいと思うが。
参考人 私として訂正したいと思う。

委員 もし、20年運転延長した場合、という言い方をされているが、参考人は運転延長には容認と

隣接自治体にも交付されるようにできないかと思いい、陳情した。
委員 薩摩川内市の交付金額を言われたが、金額は薩摩川内市から教えていただいたのか。
参考人 「現場100回」を行った。薩摩川内市に足を運んで教えていただいた。また、長島町・出水市・さつま町にも行った。資料は裏付けを取った上で作らないといけないと思う。令和2年度と令和3年度は、確かな数字である。

いただいた資料の中の金額では、令和2年度は同じであるが、令和3年度に相違があり、確認した方がよいと思うが、参考人はどう考えるか。
参考人 私が企画調整課へ行き、教えていただいた金額である。もし誤りだとしたら、私の聞き違いであったと思うが、教えていただいた数字を記載しているの間違っていないと思う。しかし、間違いであれば、訂正しなければならぬ。

委員 もし、20年運転延長した場合、という言い方をされているが、参考人は運転延長には容認と

委員長の確認事項の報告
委員 延長には反対であるが、もし延長された場合は交付金のアップをお願いしたいということか。
参考人 そうである。

したがって、陳情書に記載されている金額と実際の交付金額が異なることから、委員長において陳情者に対し、陳情書を訂正する意志があるか確認したが、参考人及び補助者は、陳情内容の文言及び数字とも訂正しないとの意志であった。

資源エネルギー庁、九州経済産業局に要望を行った。電源立地地域対策交付金に関するところについては、国の電源立地地域対策交付金制度及び原子力立地給付金制度の対象について、立地市町村、隣接市町村にかかわらず、原子力発電施設が立地する地点からの距離に応じて、その市町村全域を交付対象とすることという内容である。

てという考え方であり、周辺9自治体の電力の使用量によって交付金が配分されている。一たび事故があると帰還困難区域に指定され、耕作もできなくなるのであるから、その部分も加味してもらいたい。川内原発でできた電気は、九州一円で使うものであるから、この交付金は安定したものにしていくなければならない。面積を加味することについてどう考えているか。

企画調整課長 U P Z圏内に大きな影響が及ぶことは当然認識しており、問題意識は委員と同じである。現時点の交付金の配分方法が立地自治体に偏っていることが課題となっており、まずはその

解消、緩和に向け取り組んでいきたい。面積についても今回の御意見を含め、来年度以降の要望につなげていきたい。

主な討議

委員 この陳情には、交付金の根拠が不明確であると書いてあるが、根拠は明確に示されている。また、文言の不備、文字の間違いなどが見受けられる。交付金の額は概ね了承したが、この陳情については不採択すべきと判断する。

委員 この陳情書の交付金額は誤っており、陳情者に文言の修正を含め再提出すべきと申し上げた。このまま採択はできないので、不採択でよい。

薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情

薩摩沖洋上風力発電計画



審査方法協議(9月9日) 陳情者に参考人として出席を求めることに決定。

参考人への主な質疑・答弁(10月19日)

委員 陳情団体について、活動を進めていくには、名簿を作成し、団体の会員の人数などが分かたないといい。今後、賛同者を募るのであれば、人数を把握できる資料が必要だと思うが。

参考人 各団体に働きかけて賛同できる方を募り、業種など識別可能な資料の作成に取り組む。

委員 要望事項に「令和5年3月28日までに県知事、県議会に対して、情報提供と有望な区域の指定の意見書提出をお願いする」と書いてあるが、12月議会を出してほしい

という要望があるか。

参考人 前回、いちき申木野市長をはじめ、いちき申木野市の団体の方々と一緒に、知事に対する要望書を提出した。今後一緒に行動したいと思うので、タイムスケジュールを2市で合わせ、行動したい。

陳情団体の構成員や賛同する企業の資料が提出されたことに伴う審査及び意見(11月11日)

委員 今後の代替エネルギーを考えたときに、これは大きな問題である。全員がそういう思いをしていることは理解できるので、早くこの要望を意見書として、知事へ提出する方向で賛同すべき。

委員 多くの方が賛同者となっている同意書が提出されたが、漁協の考え方を議論せず、意見書を提出してよいものか。

(11月24日)

委員 ほかの団体から多くの同意書が出ているが、利害関係者である漁協との会議の場を設けた上で、結論を出していきたい。

委員 県議会でも、知事が「県としては、市町村における取組みの促進が図られるよう積極的に助言、協力していく考えである」と前向きな答弁をされているので、これ自体は進めてよいと思うが、利害関係者である漁協から意見や考え方を聞く必要がある。

参考人(北さつま漁協の代表者)への主な質疑・答弁(11月28日)

委員 今年の6月に開催された総代会において、大多数の方が反対ということであったが、反対の主な理由は何か。

参考人 反対の理由はいろいろある。組合員としての立場と組織としての立場の考え方が違うところがあると思うが、組合員の立場としては反対である。漁場が狭くなると

いう考え方である。

委員 協議会等へ参加した方が反対する理由や意見を述べられる機会があると思うが。

参考人 県の捉え方について、県漁連が近日中に関係する漁協を集めて、意見を聞くということになっており、出席要請があれば参加したいと思っている。結論的な話については、持ち帰って組合員の意見を聞かざるを得ない。

参考人と補助者の意見

参考人 陳情書を出された団体の流れ、捉え方を理解できないわけではない。それぞれの立場で方向づけをしながら、取組みをしていかなければと考えている。今後、協議の場があれば、出ていかないとはいけなく考えている。

令和5年第1回臨時会 副議長に 岩崎健二議員を選出

令和5年1月11日に一身上の都合により濱崎治議員が副議長を辞職したことに伴い、令和5年1月27日に開催された令和5年第1回臨時会において、岩崎健二議員を副議長に選出しました。

とを覚えておいてほしい。

審査における主な意見 (11月29日)

委員 当初出された8月24日の陳情書には、令和5年3月28日までにということで要望されていたが、70社余りの同意書を提出されたときには、12月議会でお願したいとの要望になっている。この違いはよく分からないが、執行部の協議も含めて考えると、今定例会中の意見書提出は控えて、時間をかけた方がよい。

委員 今定例会で採択して意見書を出すべきであると思う。

所管課への主な質疑

委員 行政として、北さつま漁協と洋上風力に関する事業の協議を進めていく考えはあるか。

水産林務課長

北さつま漁協は、本市における唯一の利害関係者であるため、引き続き情報交換を行いながら対応について考えていきたい。

審査における主な討議

委員 大変慎重に議論を重ね、内容もよく分かり、陳情趣旨も理解した。県に対して意見書を出していただきたい旨の要望もあるのですが、一部採択として意見書を提出すべき。

委員 薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情となっているが、今回の意見書提出にあたっては、趣旨とは少し違つが、一部を採択し、意見書提出でよい。

一部採択とした事項
陳情事項1項目目の、「行政と市議会、関係する団体等がより連携し協力する体制の構築」
陳情事項2項目目の、「県知事に対しての意見書提出」

所管事務調査の報告 1 閉校後の学校施設の 利活用について

(令和元年6月28日)
閉会中の調査終了までの継続調査として付託
(令和元年9月13日)
所管課へ出席を求め、現状説明及び質疑

委員 地域に活用方法を考えていただくのは大切であるが、市として活用方法を考えているか。
教育総務課長 先進的に取組みをされているところを視察しているが、現段階では具体的に示せる活用方針はない。
(令和2年1月28日)

薩摩川内市東郷町の旧山田小学校を外国人技能実習生受け入れ施設として活用されているベシックトレーニングセンター山田を視察。ベシックトレーニングセンター山田は、外国人労働者が企業への就労の前に、語学、文化、日常生活に必要なマナーや交通ルール等を学ぶ施設となっていた。



旧山田小での視察の様子

2 川内原子力発電所の 安全性と40年経過後の 稼働について

(令和元年6月28日)
閉会中の調査終了までの継続調査として付託
(令和元年10月31日)

川内原子力発電所において九州電力から安全対策の実施状況の説明を受け、併せて緊急時対策所、緊急時対策棟設置予定地及び原子力訓練センターを見学
(令和2年2月9日)

本市の赤瀬川地区を訓練実施地区として行われた鹿児島県原子力防災訓練を視察。本市農村環境改善センターでの屋内退避訓練、原子力防災講習会、同所からさつま町を經由して始良市に至る一時移

転訓練の避難退域時検査及び避難所受入れ訓練の状況を視察。
(令和4年1月21日)

令和3年陳情第6号「川内原発20年運転延長」に伴う課題の調査・研究と議会及び住民への情報提供を求める件についての審査と併せて、川内原子力発電所を視察。



原子力発電所内での説明の様子

3 再生可能エネルギー について

(令和3年6月18日)
所管事務調査として決定
(令和3年6月25日)

閉会中の調査終了までの継続調査として付託。
(令和3年12月20日)
(仮称)北鹿児島西部地区・東地区風力発電事業の事業者に出席を求め、事業

の説明を受け、質疑。
委員 風車の設置場所を変更された理由は何か。集落から離すということか。

事業者 距離もそうであるが、住民の方々が懸念されていることを無くす計画にすることが大事だと考え、改変面積を小さくし、また、水や鳥、土工量の問題など総合的に判断した。

委員 対象地区の住民の方々が、複数の事業者から説明を受け、困惑されているが。

事業者 複数事業者が競合し、混乱を与えている事実は、結果としてある。地元の方々の混乱を招くことがないよう対応する。
(令和4年1月28日)

意見聴取した風力発電事業者に要望書を提出することを決定。

要望事項

1 地域住民の生活用水及び農林水産業等に必要事業用水については、建設工事中及び事業開始後のいずれの時期も含め建設前と変わ

討論

多くの賛否活発に

らないよう措置すること。また、そのために必要な調査を十分に行うこと。

2 集落の日照に影響する施設については、建設工事中及び事業開始後のいずれの時期も含め建設前の状況と変わらないよう措置すること。また、そのために必要な調査を十分に行うこと。

3 他の事業者が計画されている事業と計画区域が重複していることから、地域住民への説明に当たっては、差異がないよう双方の計画を熟知した上で行うこと。さらに地域住民は事業の一本化を望まれていることを踏まえ、住民が納得できるように

重複している事業者間で協議・調整を行った上で、説明すること。 ※要望書は、令和4年2月3日に関係事業者へ送付した。



風力発電計画の説明を受ける様子

ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、県外への移動制限や視察・会議等の自粛が求められたことから、十分な調査ができず、現在に至った次第である。



設置場所の視察の様子



認定第1号
令和3年度決算の認定
(一般会計)

反対 竹原 信一議員

この国には大きな問題がある。誘導されるがまま、ふらふらと国についていくだけの市、行政では市民を守ることができない。あまたの不適切な事業に対して、それらを指摘すらできず、ただ、認定し続ける議員を市民は信頼してよいものか。

議案第42号
令和4年度一般会計補正(第7号)

反対 竹原 信一議員

本予算案に反対する理由は、新型コロナウイルス予防接種業務についてである。今でさえ、市民、そして子供たちの体に入るものがかさね、阿久根市役所は知ろうとしない。この無責任、無自覚な仕事ぶりに憤りを覚える。

陳情第14号
薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情

反対 竹原 信一議員

洋上発電というのは、建設に莫大な費用がかかり、送電維持費も相当かかる。結果的に事業者は一時的な経済効果というものを得られるが、住民の暮らしは疲弊すると、そうなるに違いない。こういったことを進めるべきではない。

意見書第2号

反対 竹原 信一議員

洋上風力発電は再生可能エネルギーの主電源化の切り札。風任せの風力発電が主電源化の切り札。少しは国が言うことを疑い、自分の頭でものを考えるようになっていただきたい。

決議第3号

反対 濱之上大成議員

市民の皆さんに任せられた4年という期間を全力

で取り組み、その責務を全うすることが、法的、道義的責任をとることと考えている一人である。

これは、市民お一人一人にこの現状を丁寧に説明するとともに、議会人として、是々非々はしっかりとした捉え方、考え方で、御判断していただきたい。

賛成 木下 孝行議員

3件の自主解散を求める陳情に対し、議会が賛成多数で採択したことを受けて提案したものである。市民の声は負担の軽減、費用の削減、投票率の向上などの意見がある。一部の議員が市議会議員選挙を市長選挙の滑り止めに考えているのではないかとという不快感を多くの市民が抱いて、問題視していることも確認できた。

反対 牟田 学議員

総務文教で1件の継続審査の陳情、産業厚生で4件の所管事務調査案件

を残したまま。また、学校規模適正化の審議も残されている。議員定数等では、議員報酬改定について議会側から市長に対して意見を求め、結論が出ていない。さらに、議員定数を1名減とすることに決定したにもかかわらず、条例改正の提案さえされていない。このように中途半端な状態のまま議会が自ら解散するということは、私には考えられない。

調査については、その都度継続されるものであり、また、解散しても新たな議会ができるので、そこで継続して審議がされるものと思う。また、今回提出した決議案が遅すぎたとの意見については、早く解散してしまうとコロナ関係の予算を議決できない、市民に迷惑がかかるというようなことから今になった。

賛成 仮屋園一徳議員

調査については、その都度継続されるものであり、また、解散しても新たな議会ができるので、そこで継続して審議がされるものと思う。また、今回提出した決議案が遅すぎたとの意見については、早く解散してしまうとコロナ関係の予算を議決できない、市民に迷惑がかかるというようなことから今になった。

令和4年第4回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）											議決結果				
		竹之内和満	川上洋一	濱門明典		濱田洋一	竹原信一	仮屋園一徳		牟田学	岩崎健二	木下孝行		濱之上大成	山田勝	濱崎國治	野畑直
認1	令和3年度歳入歳出決算認定（一般会計）	*	*	◆		*	◆	*		*	*	*	*	*	欠	-	認定
認2	令和3年度歳入歳出決算認定（国保特別会計）	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	認定
認3	令和3年度歳入歳出決算認定（交通災害共済特別会計）	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	認定
認4	令和3年度歳入歳出決算認定（介護保険特別会計）	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	認定
認5	令和3年度歳入歳出決算認定（後期高齢者医療特別会計）	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	認定
認6	令和3年度水道事業会計の決算認定	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	認定
議38	教育委員会委員の任命	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	同意
議39	公平委員会委員の選任	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	同意
議40	地区集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	可決
議41	財産の無償譲渡について	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	可決
議42	令和4年度一般会計補正予算（第7号）	◇	◇	欠		◇	◆	◇		◇	◇	◇	◇	◇	欠	-	可決
議43	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	可決
議44	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	可決
議45	令和4年度水道事業会計補正予算（第1号）	*	*	*		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	可決
議46	令和4年度一般会計補正予算（第8号）	*	*	欠		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	可決
陳4	電源立地地域対策交付金に関する陳情	◇	◆	◇		◆	◇	◆		◆	◆	◆	◆	◇	欠	-	不採択
陳14	薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情	◇	◇	欠		◇	◆	◇		◇	◇	◇	◇	◇	欠	-	一部採択
意2	海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域の指定のための国への情報提供に関し地元関係者等への積極的な情報提供等を求める陳情書	◇	◇	欠		◇	◆	◇		◇	◇	◇	◇	◇	欠	-	可決
決3	阿久根市議会の解散に関する決議	特別多数決 投票11票 賛成6票、反対5票														否決	
	濱門明典議員辞職の件	*	*	-		*	*	*		*	*	*	*	*	欠	-	許可

【表の見方】 議：議案 請：請願 決：決議 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 -：表決権なし

○野畑直議員は議長職のため特別多数議決を除く議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

各議員が市政を問う

一般質問

令和4年第4回定例会では、4名の議員が一般質問を行いました。

1 濱田 洋一 議員「危機管理」

2 竹原 信一 議員「負の循環」

3 濱門 明典 議員「再エネ事業」

4 山田 勝 議員「鳥獣被害対策」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴について

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承ください。

危機管理の要諦は

体制を絶えず改善する

濱田 洋一 議員

危機管理

濱田 「公助」の役割で重要なことは、危機管理の要諦である。どのようなことを整えるか。

市長 住民の生命を守ることを最優先に、施策の展開と体制づくりが重要であり、科学的知見及び過去の災害から得られた教訓を踏まえ、取組や体制づくりを絶えず改善する。



動画視聴



濱田 各地域それぞれに想定される災害に備えた対策について、自主防災組織あるいは、集落組織と常に共通認識を持ち、連携を図っておく必要があると思うが。

総務課長 防災マップを活用し、想定される災害に対する住民行動等について話し合う機会を設けながら、災害への認識と情報共有を深めていただく活動に取り組む。

市の将来像は

濱田 今やるべきこと、将来に向けてやっておか

なければならぬことをどのように考えているか。
市長 市民生活の安定を図りながら、今、必要なこと、そして未来を見据えて現在取り組んでおくべきことを時期を逃すことなく着実に進める。

濱田 あらゆる観点から市民の皆様を支えることが大事であり行政に託された使命であると思うが。
市長 私が掲げている市の将来像の実現のためには、市政の様々な分野で市民の皆様を支えていくとの思いが不可欠である。



防災ガイドマップを活用し想定される災害に備え、家族で話し合うことも大切です。

人口減の原因は

個別の理由による

竹原 信一 議員



動画視聴

転入については個別の理由によるものと考えている。人口減少の抑制につながる施策を推進する。

施設の費用

竹原 観光まちづくりなどの建設・維持費、解体費用等ほどのように想定しているのか。

財政課長 交流センターは、設計業務委託費が約1億1160万円、建設費は18億110万円、年間維持費は約1580万円、ピアノの購入費は1700万円。番所丘公園オートキャンプ場は、設計は約250万円、整備費は約3000万円、年間維持費は算出していない。図書館は、設計約3390万円、建設費は、約4億8540万円、維持費は算出していない。

再エネ事業

10億6千万円は妥当か

蓄電池受変電設備費用等

濱門 明典 議員



動画視聴

に当たっての行政からの説明が不足していると思うが。

市長 市民の方に説明不足という御指摘は真摯に受け止めさせていただきたい。

濱門 総事業費は10億6千万円と聞いているが、どのような手順で決められたか。総出力、総面積はいくらか。出力は1900

キロワット、面積は概算で1万450平米と聞いている。

濱門 総出力2000キロワットとしたら1億6千万円の工事費くらいだと聞いているが。

政策監 約半分の5億円程度が蓄電池関係、太陽光発電関係の施設が1億6千万円である。

濱門 2000キロワットで1億6千万円、蓄電池5億円、合計で7億円弱。まだ10億6千万円には程遠い金額だが。

政策監 残りはマネジメントシステム、受変電設備等の費用である。

再エネ事業

10億6千万円は妥当か

蓄電池受変電設備費用等

濱門 明典 議員

濱門 阿久根市内の企業にも合同会社トラストバンク阿久根への出資を募ると言っていたが、出資者はあったのか。

市長 現在までに出資した市内の法人等はないものと承知している。

濱門 6か月も過ぎていく。この事業を市民が望んだ事業なのかと捉えたときどう考えるか。

市長 出資を検討されている市内の会社は2社である。

濱門 この事業が阿久根の負の遺産となるのではと心配する。事業を行う

負の循環

竹原 人口は減少している。そうすると税収は減る。税収が減ると行政サービスが悪化する。行政サービスが悪くなるとさらに人口は逃げていくという負のスパイラルに既に陥っている。都市建設課などは、草刈りを住民がやれとか、総務課は自助でという考え方になっている。人口減少の状況と見通しは。人口減少をどうやって止めるのか。

市長 特に20歳代の人口減少が著しいことが明らかとなっている。転出や



観光まちづくりは負のスパイラル



市民会館に設置された蓄電池

鳥獣の捕獲状況は

猪485頭 鹿1,149頭他

山田 勝 議員

鳥獣被害対策

山田 捕獲したイノシシ、鹿のジビエ活用食肉処理事業の取組状況は。

市長 解体処理施設が本市に1か所あるが、国のジビエ認証を取得しなければならぬ。10月29日に認証機関による現地審査を受け、近日中に取得される。ジビエ活用に向けて関係機関と調整を図りながら取り組んでいく。



早急なジビエとして活用が求められる

山田 令和元年の産業厚生委員会でのいかに阿久根に関する調査では、不正はなかったことが報告された。解体処理した肉の80%以上を捕獲者が持ち帰っている。捕獲して補助金を貰い、さばいてももらった肉は持ち帰る。

関する係争は判決が確定したということだが。

市長 3月に原告の請求を棄却する判決が出され、高裁に控訴したが10月に棄却する判決がされた。

山田 ジビエの活用による新たな事業の展開は。

市長 鳥獣の捕獲による、農作物の被害軽減、農家の営農意欲の向上、ジビエ活用食肉処理事業をはじめとしたジビエの消費拡大の取り組みを支援していく。

市長 公金が入っている以上、ジビエ肉の管理については、第三者が入ってしっかりと記録し、販売についても明確化する。

山田 いかく阿久根に

その他
市街地の活性化 青果市場跡地の9月議会以降の取り組みについて

委員会委員長等の変更

10月以降に4人の議員が辞職・失職したことに伴い、委員会構成を変更する必要が生じました。12月12日時点の委員会構成は次のとおりです。

なお、9月定例会以降、委員及び役職に変更のあった委員については朱書きで表示しています。

- ・ 仮屋園 一徳委員長
- ・ 山田 勝委員

広報広聴委員会

- ・ 竹之内 和満委員長
- ・ 木下 孝行副委員長
- ・ 川上 洋一委員
- ・ 牟田 学委員
- ・ 濱之上 大成委員
- ・ 山田 勝委員

総務文教委員会

- ・ 濱田 洋一委員長
- ・ 竹之内 和満副委員長
- ・ 牟田 学委員
- ・ 岩崎 健二委員
- ・ 濱之上 大成委員
- ・ 野畑 直委員

北薩広域行政事務組合議会

本市から選出していた3人の北薩広域行政事務組合議会議員が辞職・失職したため、議長等の役職者がいない状態となっていました。

産業厚生委員会

- ・ 仮屋園 一徳委員長
- ・ 山田 勝副委員長
- ・ 川上 洋一委員
- ・ 木下 孝行委員
- ・ 濱崎 國治委員

議会運営委員会

- ・ 牟田 学委員長
- ・ 岩崎 健二副委員長
- ・ 竹之内 和満委員
- ・ 濱田 洋一委員

12月23日に開催された北薩広域行政事務組合議会において、議長に木下孝行議員、議会運営副委員長に仮屋園一徳議員、総務委員長に濱田洋一議員がそれぞれ選出されました。

議員と語る会に関するお知らせ

広報広聴委員会では、これまで議員と語る会の開催について協議を行ってまいりましたが、感染者数の把握の方法が変更になったとはいえ、まだ近隣市町村を含め、本市でも感染が治まっていないことなどから、今年度の議員と語る会は中止することと決定されました。

クイズ from 議会だより

議会だよりの内容から出題されるクイズにチャレンジしてみませんか。答えはこの議会だよりの中に。よく読んで答えを見つけてみよう！正解者の中から3名様に商品券(1,000円)を進呈します。なお、当選者への商品券の贈呈は今回号をもって終了となります。沢山の方に応募していただきありがとうございました。クイズは続けていきますので、引き続きお楽しみください。

- Q1 薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情では (A) 項目めと (B) 項目めが (C) 採択とされた。
- Q2 本市の令和3年度に交付された電源立地地域対策交付金の金額は (D) 円である。
- Q3 原子力発電所からおおむね5km圏内を (E) 圏内、30km圏内を (F) 圏内と言う。

～前回 217号の答え～
A : 129億2207万 B : 3/4 C : 4/5 D : 14

〈応募内容〉

- クイズQ1～Q3の答え
- 議会だよりへの感想か市政へのご意見・ご要望
- 住所・氏名・性別・年齢・電話番号を記入いただき、右記のいずれかの方法で応募ください。
- 応募締切は3月10日です(消印有効)。

*ご感想・ご意見・ご要望は誌面でご紹介させていただく場合があります。

〈応募方法〉

- ハガキ：〒899-1696
阿久根市鶴見町200番地
阿久根市役所議会事務局宛
- FAX：0996-72-2029
- メール：gikai@city.akune.kagoshima.jp

〈応募資格〉

- 阿久根市民に限ります。
- ※ 当選は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

令和5年第1回定例会のお知らせ

- 2月
24日 本会議 (提案説明・質疑)
27日 委員会 (予算・議案等)
28日 委員会 (予算・議案等)
- 3月
2日 本会議 (一般質問)
3日 本会議 (一般質問)
8日 本会議 (審査報告・表決)
9日 委員会 (新年度予算)
13日 委員会 (新年度予算)
15日 委員会 (新年度予算)
24日 本会議 (審査報告・表決)

※変更になる場合があります。

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か



車椅子傍聴席は3階
一般傍聴席は4階です

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。ぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

議会中継への二次元コードはこちら →



中継録画への二次元コードはこちら →



学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。会議録は市役所・三笠支所・大川出張所・図書館で閲覧できます。

委員から一言

令和4年第4回定例会では、開会前に2人の議員が辞職し、最終日に1人の議員が辞職、閉会後には市長選への立候補による失職など、4人もの議員が欠員することとなったが、公職選挙法の90日特例によってこの欠員の補充はされない。欠員が出るたびに総務文教委員会、産業厚生委員会、広報広聴委員会、議会運営委員会を開催し、欠員を補充してきた。

年が明けて行われる第1回定例会は市の予算を決める重要な定例会である。限られた議員であるが議論を尽くして行きたい。

(委員長 竹之内 和満)

発行	阿久根市議会
作成者	広報広聴委員会
委員長	竹之内 和満
副委員長	木下 孝行
委員	川上 洋一
委員	牟田 学
委員	濱之上 大成
委員	山田 勝